

3月定例会を 振り返って 会派の意見

市民クラブ

再び財政厳しい高知市

次の世代へしっかり

明るい希望を手渡したい

竹内千賀子議員は、岡崎市政4期の総括をはじめ、財政健全化、新食肉センター整備事業、高知市人権尊重のまちづくり条例（以下、人権条例）などについて市長の見解をただした。

特に人権条例について岡崎市長は、さまざまな人権課題の解決のために人権条例制定は不可欠。条例制定を契機に市民一人一人がかげがえのない存在として尊重される社会の実現に向けて取り組むと答弁した。

田鍋剛議員は、地域高齢者支援センターの再編強化と地域共生社会の実現等についてたずね。執行部は、センターを14カ所に増やすことや、それを統括する基幹センターの設置、断らない窓口を目指すと答弁。

深瀬裕彦議員は、春野町との

合併に伴う計画の残事業の状況、助かった命をつなぐための津波避難場所の整備のあり方、市街化調整区域の規制緩和の方針、西敷地利活用事業の審査の問題点などについて質問した。

岡崎豊議員は、西敷地問題で責任の所在を問うも、市長は手続き上での反省を述べるに留まる。卸団地のまちづくりでは、安全面への配慮と公共交通の利用促進を提案。また、市役所の障害者雇用促進を求める。

日本共産党

撤回した西敷地事業の火種残す

再公募予算削減、「差別」を強調した人権条例の修正案を提案

代表質問に下本、個人質問ははた、細木、下元、浜口、岡田の各議員が登壇。◎議会直前に撤回した西敷地事業の推進で、市政を混乱させた市長の責任を追及。市民の声を無視した事業そのものの白紙撤回を迫るが拒否。◎食肉センター運営のリスク管理として保険による補償を求め、検討を約束。◎教員の長時間労働は教育長が解消を目指す

と答弁。◎児童虐待防止のため人員の確保や育成へ、総合支援拠点設置に向け取り組むと答えた。◎「同和対策」として地域改善住宅が地域限定で「闇募集」される実態を告発、解消を求めたが応じなかった。◎国の通知に沿った市住の保証人規定の削除の検討を求めた。◎令和

新風クラブ

今後のまちづくり等について、

和田勝美議員が代表質問！

市長の堅実な行政手腕とさまざまな功績は素晴らしいものと評価しつつ、新たな時代の幕開けを迎えるに当たり、今後のまちづくりをどのように進めていくのかをただした和田議員に対し、岡崎市長は「県都として、れんけいこうち広域都市圏の中心都市として圏域全体を力強く牽引する立場から、人口減少下においても持続可能な地域社会、すなわち本市に居住する市民の皆さまが将来にわたって安心と生きがいを持って暮らしていくことのできる地域共生社会に向けた地域住民と行政等の協働による『わが事』『丸ごと』の地域づくりに取り組みたい」と新年度に向けた決意を語った。

◆中澤はま子議員の個人質問
故水口晴雄議員の遺志でもある中心市街地の活性化とオーテピア西敷地の利活用についての質問に、岡崎市長は「西敷地は

追手前小と新堀小の統合で生み出された一等地にある貴重な市有地であり、さまざまな機能を配置するのにふさわしく、都市計画マスタープランに沿って、令和元年度に民間から利活用案を再公募したい」と答弁した。

公明党

市の予算は市民のために

山根堂宏議員は、会派を代表

して、令和元年度当初予算の基
本方針を踏まえ、重点施策や実
施事業の概要、また、新財政健
全化プラン策定について質問。
市長は財政健全化について、公
債負担の軽減や繰上償還の借り
入れの見直し、中長期的に達成
する仕組みを構築して収支改善
につなげるとなりました。

寺内憲資議員は、高齢化し、
ひきこもりがちとなっている中
国残留邦人への支援の仕方につ
いて質問を行い、健康福祉部長
からは、ひきこもりがちな生活
を送られている方が気軽に集ま
れる居場所の令和元年度早期か
らの開設を目指し、準備を進め
ているとの答弁がありました。

西森美和議員は、市民一人当
たりの床面積が中核市平均を上
回る本市の公共施設の維持管理
（公共施設のマネジメント）や
住民主体の支え合い活動（生活
支援体制整備事業）など、将来
の高知市を考える上で必要な情
報を広く市民の皆さまと共有し
議論する環境を強く求めました。

新こうち未来

新図書館西敷地利活用事業に関
して修正案を提出

代表質問には浜口卓也議員、
個人質問には戸田二郎議員、川
村貞夫議員が登壇。

来年度予算案に計上されている
新図書館西敷地関連予算のうち、
プロポーザル選定委員報酬
費用等を削減する修正案を提出
した。理由としては、これまでの
の反省を踏まえることなく選定
委員の報酬や選定委員会の開催
回数を現時点において決めてしま
うことはあまりにも拙速であ
るというものである。西敷地を
どう利活用するべきかを市民と
共にじっくりと議論し、方向性
が定まってから予算化しても遅
くはなく、その方が事業実現に
向けた有効な予算が組めるもの
と考える。予算決算常任委員会
では可否同数になったものの委
員長裁決で否決となり、その後
の本会議では賛成少数で残念な
がら否決となった。

みどりの会

近森正久市議

2期8年の議員活動。皆さまの
ご支援があつてさまざまな市政
の問題点について指摘や改善を
して参りました。競艇場の舟券
売り場を2度に渡って阻止。ふ
るさと納税は3億9千万円迄増
加。無駄な残業も削減。市民の
皆さまの目線で頑張りました。